

**FEDO フェミニストダリット協会**  
**2015年4月～2016年3月活動報告書**

**ダリット女性に対する暴力の削減**

本プロジェクトはパルサにて実施される。パルサも位置するテライ地域はあらゆる公的資源へのアクセスが乏しく、さまざまな発展指数は全国平均より下回っている。ネパール政府は幼児婚やダウリ制度を禁止する政策を策定したが、実施はお粗末である。また、家父長制社会により、この政策を市民は軽視している。テライ地域の女性の大半は複合差別に直面しており、それが暴力とつながっている。ダウリ制度や、魔女、幼児婚などの迷信に基づく慣行を社会は依然として受け入れており、その被害者は常にダリット女性である。特にテライ地域では幼児婚の率が高い。そのような中、経済や教育向上のための投資を行う政府機関あるいは非政府機関はわずかしかない。

浄土宗平和協会の財政支援により、FEDO はパルサ支部にて「ダリット女性に対する暴力の削減」プロジェクトを 2014 年から実施している。近隣にある FEDO のビルジュング事務所の協力をえて、プロジェクトはさまざまな VDC（村落開発委員会：最小の行政単位）で実施されてきた。2016 年 1 月からは自治体再編成で、11 の VDC が一つの市に合併し、31 の区で構成されるようになった。そのため、本プロジェクトは 2016 年 4 月よりビルジュング市の 31 区で実施されるようになる。年度初めには 27 あった女性グループは最後の四半期で 3 つ増え、30 になった。グループは地域の会合を開き、女性に対する暴力削減キャンペーンを広げるため各戸を訪問している。さらに、政府のサービスについて知らせ、それらを積極的に利用するよう勧めている。

	活動内容	目標	達成
1	新規ダリット女性グループの結成	3	3
2	ダリット女性グループの動員、活動促進そして強化	30	30
3	戸別訪問	12	12
4	地区レベルの活動家の育成	1	1
5	ネットワークと調整	2	2
6	人権および法的権利に関するトレーニング	1	1
7	地区レベルでの年 4 回の会議	3	3
8	地区事務所のモニター	6	6
9	本部からのモニター	1	1
10	報告	4	4

**年間活動**

**1. 新規ダリット女性グループの結成**

年度の始めは 27 グループあったが、今年度は 3 グループが新規に結成され、30 グループとなった。新しいグループは以下の通りである。

- 1) ビダワシニ・ダリット女性グループ

2) マンガルババ・ダリット女性グループ

3) サヘリ・ダリット女性グループ

成果：

- ・女性たちは存在を示せるようになった。
- ・毎月の定例会議が開かれた。
- ・女性たちは女性に対する暴力の問題について認識するようになった。
- ・ブリヤビラタ・ダリット女性グループの代表のマヤ・デヴィ・ラムが病院の委員になった。
- ・バガヒ・ダリット女性グループの代表が病院の委員およびVDCの委員となった。

## 2. ダリット女性グループの動員、活動促進そして強化

この活動の目的は女性グループを持続させることである。そのため、各グループでの月例の定期会合を定着させてきた。今年度の月例会合での主な議題は、「女性に対する暴力とは何か?」「どのようにして暴力から安全にいられるか?」「権利とは、特に女性の権利とは何か?」であった。また、人身売買、市民性、幼児婚、出生届けについても議題としてとりあげた。会議室は自治体政府が提供してくれた。以下はグループ名とメンバー数である。

	グループ名	メンバー数
1	ジェイマハビル・ダリット女性グループ	16
2	ガハワマイ・ダリット女性グループ	18
3	サハリ・ダリット女性グループ	20
4	サンサリマイ・ダリット女性グループ	19
5	ドゥルガマイ・ダリット女性グループ	18
6	マラガババ・ダリット女性グループ	17
7	プラティバ・ダリット女性グループ	14
8	ブタンデヴィマイ・ダリット女性グループ	18
9	サトマイ・ダリット女性グループ	24
10	シバジ・ダリット女性グループ	15
11	サンダル・ダリット女性グループ	20
12	マニヤリ・ダリット女性グループ	25
13	パシュパティナガル・ダリット女性グループ	25
14	シャンティ・ダリット女性グループ	16
15	ムスカン・ダリット女性グループ	16
16	シュリラム・ダリット女性グループ	18
17	サルスウオティ・ダリット女性グループ	20
18	プラティバ・ダリット女性グループ	14
19	サントシマイ・ダリット女性グループ	12
20	ジェイバジュランバリ・ダリット女性グループ	16
21	ナグバワニ・ダリット女性グループ	15
22	チェトナ・ダリット女性グループ	18
23	ブタンデヴィマイ・ダリット女性グループ	18
24	ビダワシニ・ダリット女性グループ	25
25	パシュパティ・ダリット女性グループ	26
26	サンガム・ダリット女性グループ	20
27	シャンティ・ダリット女性グループ	19

28	シュリジャナ・ダリット女性グループ	20
29	アトマニルハル・ダリット女性グループ	16
30	スルサティ・ダリット女性グループ	21
31	ジャグリティ・ダリット女性グループ	16
合計		575

成果：

- ・ 210 人の新生児の出生届けを行った
- ・ 250 人の子どもが政府の栄養手当を受けた。
- ・ 30 人の女性と 10 人の男性が市民登録を行った。これらの人はこれまで市民権に無関心であった。
- ・ 女性男性ともに婚姻届けに関心が薄い。だが、今回 27 組の夫婦が婚姻届けを提出した。
- ・ 定例のグループ会合に 464 人のメンバーが参加するようになった。
- ・ 以前は、ダリット女性たちは自宅で専門家ではない保健師の助けで出産をしていた。現在は、50%の女性が病院に行くようになった。
- ・ ダリット女性は市町村の役場が作ったグループの代表を務めるようになった。ダリット女性の直面する問題を自治体レベルで発するようになった。
- ・ 一人のダリット女性が農政部から種苗をもらい、野菜菜園を始めた。同じく、30 人の女性が無料で種苗をもらい、それぞれ個別に菜園を始めた。
- ・ 次のグループのメンバーたちは貯金を始めた。チェトゥナ・ダリット女性グループ、ジャヤマビル・ダリット女性グループ、ジャグリティ・ダリット女性グループ、アトマニバル・ダリット女性グループ
- ・ 迷信を信じる人が徐々に減ってきた。
- ・ 幼児婚に関する賛否両論があることについてすべての人が知るようになった。

### 3. 戸別訪問

FEDO のメンバーは、市民登録、出生届け、婚姻届け、栄養手当、女性の暴力、女性の権利、人権、教育など、政府のさまざまな市民サービスについて戸別訪問で知らせる取り組みを行った。

成果：

- ・ 女性たちは出生届けを出すようになった。
- ・ 女性たちは市民登録や婚姻届けを行うようになった。
- ・ 女性たちは”グムト（ベール）”を被る女性が減りつつあることを肯定的に受け止めるようになった。
- ・ 教育の高低、あるいは有無に関係なく、多くの家から女性たちが”グムト”なしで外に出るようになった。
- ・ 人びとはダウリ制度について十分認識するようになった。
- ・ 女性たちは法的処罰に関してよく理解するようになった。
- ・ 女性たちは暴力に関するさまざまな問題を女性グループの会合で話しあうようになった。

### 4. 地区レベルの活動拠点の結成

2015 年 6 月 27 日、20 人の女性と 15 人の男性からなる女性隊員グループが結成された。このグループは女性の権利の向上のため、さまざまな NGO を訪問した。グループはまた女性に対する暴力削減のために活発に活動しているメンバーに、メンバーの任務について説明をした。

成果：

- ・ このグループの代表は役所に行くようになった。
- ・ このグループの代表は市民意識化センターのコーディネータであり、区の市民フォーラムのメンバーでもある。60人のダリットの新生児の出生届けが行われた。
- ・ このグループのメンバーはそれぞれの地元でダリットの問題に関して活動を始めた。
- ・ メンバーは時々他のNGOを訪問した。

## 5. ネットワークと調整

FEDO パルサ支部は地元当局とのネットワーク作りや調整のための会議を開催した。21人(女性7人、男性14人)が参加した。過去2年間で、ビルジュング市で30のグループが結成され、女性に対する暴力削減の活動を進めてきた。このためのネットワーク作りと調整が行われた。

## 6. DVに対する地区レベルの活動のための人権および法的権利に関するトレーニング

26人が3日間のトレーニングに参加した。トレーニングは人権、法的権利そして女性の権利をテーマにした。以下はプログラムである。

### 1日目

- ・ 法律入門
- ・ さまざまなタイプの法律
- ・ さまざまなタイプの国内および国際法
- ・ 刑法とは？
- ・ 最高裁の決定
- ・ 国際条約
- ・ 法律文書
- ・ 憲法
- ・ 慣習
- ・ カーストに基づく差別と不可触制に関する法律
- ・ 女性に対する暴力に関する法律
- ・ 一夫多妻に関する法律
- ・ 幼児婚に関する法律

### 2日目

- ・ 女性の権利入門
- ・ 女性の権利の状況
- ・ 女性の義務と責任
- ・ ダリットおよびダリット女性の状況

### 3日目

- ・ 人権入門
- ・ 異なるタイプの人権
- ・ 人権の分野
  - 社会的権、経済的権利、市民の権利、文化的権利、政治的権利
- ・ ジェンダー平等
- ・ 社会的なジェンダー差別

## 7. 地区レベルでの年4回の会議

圧力グループの代表ナギ・デヴィ・ゴサイは今年3回会議を開いた。

開催日	2015年9月3日	参加者	20人
	2015年12月16日		20人
	2016年2月20日		20人

## 8. 地区事務所のモニター

グループが息長く活動できるよう、そして効果的にプログラムに取り組めるよう、モニターを実施した。パルサ支部の役員がモニターとして以下のグループを訪問した。

役員	ナギ・デビ・ゴサイ	グループ	ムスカン・ダリット女性 G サンガム・ダリット女性 G ガハママイ・ダリット女性 G チェトナ・ダリット女性 G ジャヤマハビル・ダリット女性 G シャンティ・ダリット女性 G ナガバワニ・ダリット女性 G ジャヤマハビル・ダリット女性 G エクタ・ダリット女性 G サヘリ・ダリット女性 G ムスカーン・ダリット女性 G サンガム・ダリット女性 G ジャヤマハビル・ダリット女性 G チェトウナ・ダリット女性 G サハリ・ダリット女性 G 信用組合
	シーマ・デヴィ・マハラ 2015年9月14日		
	キラン・デヴィ・ラム 2015年9月17日		
	ナギ・デヴィ・ゴサイ 2015年11月22日		
	キラン・デヴィ・ラム 2015年12月11日		
	シーマ・デヴィ・マハラ 2016年3月23日		

モニターで確認できたこと：

- ・ 意識化センターのメンバーたちは今では町役場に提案ができるようになった。
- ・ メンバーの一部はVDC（村落開発委員会）の一員となった。
- ・ リーダーの資質が向上した。
- ・ 子どもの出生証明を申請できるようになった。
- ・ ダリット女性グループのメンバーは区の市民フォーラムのメンバーになった。
- ・ ダリット女性の代表を他の分野に送ることができるようになった。
- ・ 学校運営委員会の委員にメンバーがなった。
- ・ さらに多くの女性が政治に関心をもつようになった。
- ・ 女性たちは病院が提供するサービスを利用できるようになった。
- ・ 女性たちは妊娠中に病院に行くようになった。
- ・ 10～12人の女性たちが避妊具を使うようになった。
- ・ 女性たちは農政部から種苗をもらい、菜園栽培を始めた。
- ・ 6区から230人の女性たちが政府の栄養手当カードを手に入れた。
- ・ 9人の女性たちが無料で白内障の手術を受けた。
- ・ 60人の女性たちが目のさまざまなトラブルに関してトレーニングを受けた。
- ・ 共同組合は110万ルピーの商売を行った。女性たちはこれを使って問題解決にあたった。

## 番外のプログラム

FEDO とカディヤ眼科病院はビルジュング市内およびバリヤ・ビリタ市で、それぞれ1日の眼の健康に関する意識化プログラムを共同で実施した。どちらにも31人が参加した。

話したこと

- ・ 眼の働き
- ・ 眼の病気とは？
- ・ ビタミンA はなぜ良いのか？
- ・ 白内障とは？
- ・ 薬をのんでいるときに注意すべきことは？
- ・ 眼が菌に感染したときにすべきこと

成果：

- ・ 眼に関する病気について知った。
- ・ 女性たちは眼の病気は怖いことを知り、検査をうけるようになった。
- ・ 10人の女性が無料の眼の治療を受けた。
- ・ 40人のダリット女性が眼の検査を受けた。
- ・ 62人の女性たちがこのプログラムの直接的な受益者となった。
- ・ 眼の怪我をしたときはすぐに病院に行くことを学んだ。
- ・ 子どもが眼の病気にかかったらすぐに病院に連れていくことを学んだ。
- ・ 緑の野菜と黄色のフルーツを適量摂取しなくてはならない。
- ・ ビタミンAのサプリメントを利用する。
- ・ 白内障にかかったらできるだけ早く手術を受けること。
- ・ 眼はきれいな水で清潔にしておかなくてはならない。

## 女性に対する暴力の16日間のキャンペーン

FEDO は子どもの福祉事務所と協力して、16日間のキャンペーンを実施した。1日のプログラムを開催した。次のグループが参加した。

ムスカハン・ダリット女性 G 25人

ブタンデヴィマイ・ダリット女性 G 26人

シヴァジ・ダリット女性 G 23人

ガワマイ・ダリット女性 G 23人

ドゥルガ・ダリット女性 G 24人

プログラムで話したこと：

- ・ 女性たちが教育をうけたら、女性に対する暴力は減らすことができる。
- ・ すべての女性は、一人ひとりがかげがえのない存在である。